

バーティシリウム萎凋病抵抗性の キャベツ新品種「YR恋豊」「YR清美」

キャベツ生産地(群馬県嬭恋村)において、土壌中のバーティシリウム菌というカビの仲間により引き起こされる土壌病害であるバーティシリウム萎凋病が発生し、その被害が継続していることから早急な対策が求められていました。本病は、葉がしおれ、黄化症状等を呈するものですが、薬剤による防除が難しく、また、土壌中でバーティシリウム菌は10年以上生存します。群馬県農業技術センターでは民間企業との共同研究により、キャベツバーティシリウム萎凋病抵抗性を有する2種類の早生品種を開発しましたので、その成果の概要を紹介いたします。

☆ 技術の概要

1. 開発した品種の「YR恋豊」及び「YR清美」は、ともに早生のF₁品種で、キャベツバーティシリウム萎凋病抵抗性を有し、その強さは同病に強い抵抗性を示す「YR藍宝」と同程度です。
2. 両品種とも5月上旬～下旬播種、8月中旬～9月収穫の高冷地栽培に適しています。「YR恋豊」は、定植後65日程度で収穫できます。また、「YR清美」は、定植後60日程度で収穫できます。
3. 葉の波うちや球色等から、「YR恋豊」は寒玉系品種としての特徴を、「YR清美」は春系と寒玉系の中間タイプとしての特徴を有しています。



YR恋豊



YR清美

表 キャベツ新品種「YR恋豊」、「YR清美」のバーティシリウム萎凋病抵抗性程度

品種名	2004年				2005年			
	調査株数	発病株率(%)	発病度	商品化率(%)	調査株数	発病株率(%)	発病度	商品化率(%)
YR恋豊	30	17	10	100	30	0	0	100
YR清美	30	20	12	97	30	0	0	100
岳陽(罹病性)	30	100	82	27	30	93	90	10
YR藍宝(抵抗性強)	30	33	20	100	30	0	0	100

注1)2004年：播種6/10、定植7/15、調査9/8。 2005年：播種6/17、定植7/20、調査9/30。

☆ 活用面での留意点

1. 「YR清美」は在圃性が低いため収穫遅れに注意が必要です。なお、両品種とも平坦地では、7月中下旬播種、10月中旬～11月中旬収穫の作型に適します。
2. 「YR恋豊」は、硬めの食感で業務・加工用に適し、「YR清美」は柔らかい食感でサラダなどの生食用に適しています。両品種は共同研究先である雪印種苗(株)が種子販売を開始しており、群馬県外での栽培も可能です。
3. 詳しいことは、群馬県農業技術センター高冷地野菜研究センター(電話 0279-96-1011)へお問い合わせください。(日本政策金融公庫 農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 袴田勝弘)